



# 怒りの精霊

10月16日

Sudden Fiction Project

高階 經啓  
hirotakashina

## 10月16日のおはなし「怒りの精霊」

---

念入りに化粧をする。顔に泥を塗りたくり土気色に仕上げ、そこに模様を書き込んでいく。渦、風の流れ、炎、樹影。化粧とともに表情は読み取りがたくなり、まるでなじみのない新しい生き物が生まれたようにも見える。支度が整うと羽飾りの冠をつけ、毛皮をはおる。

人間らしさが失われ、やがて人とも獣ともつかぬ本性が姿をあらわにする。畏怖の念を込めて彼らに“森の精霊”と呼ばれていることをもちろん君は知っている。それこそ望むところだ。森の精霊が怒りをぶちまけにくる。彼ら“羊ども”にはそう思わせておけばいい。

不定期に繰り返される明け方の襲撃。それがどうして始まったのか、君は知らない。遠い昔、“羊ども”から受けた掠奪のため、君の部族が壊滅に追い込まれたいきさつも、正確なところは知らない。物心がついたときにはもう、この、日の出前の儀式は習慣として伝えられていたのだ。

君は高い声を張り上げ出陣のことばを唱える。襲撃部隊15人がそれを復唱する。普段使う言葉とは違う、この“森の精霊”のためだけの言葉で。これもまた遙か昔から伝えられてきた習慣だ。なぜこの襲撃を行うのか、その理由と目的はここに語り尽くされている。

「呪われた者に呪われた朝を」  
「呪われた者に呪われた朝を」  
「我等が流した血より多くの血を」  
「我等が流した血より多くの血を」  
「最悪の一日の訪れを悟らせよ」  
「最悪の一日の訪れを悟らせよ」

最後の言葉にすべては集約されている。“羊ども”には今日もまたひどい一日が始まったことを悟らせなくてはならない。“森の精霊”を怒らせた以上、未来永劫いい一日など訪れないということを思い知らせなくてはならない。

出撃の言葉を唱え終わると君は馬に鞭を入れる。日の出までまだ時間のある薄闇の中に乗り入れる。朝露が足先を濡らし、ひやりとした大気が髪を後ろに吹き流す。まだ夜も明けぬうちから、馬を駆り、君は、“森の精霊”たちは朝の挨拶に向かう。

(「朝の挨拶」 ordered by kyouko-san/text by TAKASHINA, Tsunehiro a.k.a.hiro)

## 感謝の言葉と、お願い&お誘い

---

Sudden Fiction Project（以下SFP）作品を読んでいただきありがとうございます。お楽しみいただけましたでしょうか？ もしも気に入っていただけたらぜひ「コメントする」のボタンをクリックして、コメントをお寄せください。ブックログへの登録（無料）が必要になりますが、この機会にぜひ。

「気に入ったけどコメントを書くのは面倒だ」と言うそのあなた。それでは、ぜひ「ツイートする（Twitter）」「いいね！（Facebook）」あたりをご利用ください。あるいは、mixi、はてな等の外部連携で「気に入ったよ！」とアピールしていただけると大変ありがたいです。盛り上がります。

※星5つで、お気に入り度を示すこともできるのですが、面と向かって星をつけるのはひよっとしたら難しいかも知れませんね。すごく気に入ったら星5つつける、くらいの感じでご利用いただければ幸いです。

現在、連日作品を発表中です。2011年7月1日から2012年6月30日までの366日（2012年はうるう年）に対して、毎日「1日1篇のSFP作品がある」という状態をめざし、全作品を無料で大公開しています。→[公開中の作品一覧](#)

SFP作品は、元作品のクレジットをきちんと表記していただければ、転載や朗読などの上演、劇団の稽古場でのテキスト、舞台化や映像化などにも自由にご活用いただけます。詳しくは「[Sudden Fiction Project Guide](#)」というガイドブックにまとめておきました。使用時には、コメント欄で結構ですので一声おかけくださいね。

ちょっと楽屋話をすると、7月1日にこのプロジェクトを開始して以来、日を追うごとにつくづく思い知らされているのですが、これ、かなり大変なんです（笑）。毎日1篇、作品に手を入れてアップして、告知して、[Facebookページ](#)などに整理して……って、始める前に予想していたよりも遥かに手間がかかるんですね。みなさんからのコメント、ツイート（RT）、「いいね！」を励みにがんばっていますので、ぜひご協力お願いいたします。

読んでくださる方が増えるというのもとても嬉しい元気の素なので、気に入った作品を人に紹介して広めていただけるのも大歓迎です。上記Facebookページも、徐々に充実させてまいりますので、興味のある方はリンク先を訪れて、ページそのものに対して「いいね！」ボタンを押してご参加ください。

10月からは「1日1篇新作発表」の荒行（笑）を開始し、55作品ばかり書き上げる予定です。「[急募！お題 この秋Sudden Fiction Project開催します](#)」のコメント欄を使って、読者のみなさんからのお題を募集中です。自分の出したお題でおはなしがひとつ生まれるのって、ぼくも体験済みですが、かなり楽しいですよ！ はじめての方も、どうぞ気軽に遠慮なくご注文ください（お題は頂戴しても、お代は頂戴しないシステムでやっています。ご安心を）。

こんな調子で、2012年6月30日まで怒濤で突き進みます。他にはあんまりない、オンラインならではの風変わりな私設イベントです。ぜひ一緒に盛り上がってまいりましょう。

## 怒りの精霊

<http://p.booklog.jp/book/35135>

著者 : hirotakashina

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/hirotakashina/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/35135>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/35135>

公開中のSudden Fiction Project作品一覧

<http://p.booklog.jp/users/hirotakashina>

電子書籍プラットフォーム : ブックログのpapier ( <http://p.booklog.jp/> )

運営会社 : 株式会社paperboy&co.